



安全大会 (安芸署)



救急法講座の様子 (四万十署)



安全宣言 (愛媛署)



愛媛森林管理署

西条森林事務所

首席森林官 鋸本 久義

西条森林事務所は、愛媛県東予地方に位置する地下水の自噴泉である「うちぬき」で有名な西条市にあり、石鎚森林事務所との合同事務所です。当森林事務所は私と三年目になる若い係員の二名ですが、石鎚森林事務所森林官、基幹作業職員(一名)と互いに協力しながら事業を運営しています。また、五年程前から森林保護員二名を臨時雇用し、春から秋にかけて石鎚山・瓶ヶ森を主体に、森林の保全・清掃等を目的とした森林パトロールを行っています。

管内の国有林面積は約四、八〇〇haで、西日本最高峰の石鎚山(一、九八二m)を中心とする瓶ヶ森・寒風山・笹ヶ峰等の石鎚山系を管理しています。

霊峰石鎚山は、毎年七月一日からの一〇日間、お山開大祭として多くの参拝者・登山者で賑わい、この間は愛媛森林管理署の職員も加わって、参拝者・登山者の安全確保、森林保全等を目的にパトロールを実施しています。

また、石鎚山系は「石鎚山系森林生態系保護地域」、「四国山地緑の回廊(石鎚山地区)」、「自然休養林(面河・四国カルスト・瓶ヶ森)」、「風景林(石鎚・笹ヶ峰・寒風山)」等に指定さ

れ、標高差や地理的条件により多種、多彩な動植物が見られる重要な地域であり、四季を通し人々を惹きつけています。ぜひ、一度は石鎚山系に足を運ばれるようお勧めします。

当森林事務所の主な事業は、造林請負事業(除伐Ⅱ類等)、立木販売(分収育林)、境界巡検、林野巡視、林道の維持管理等があります。

また、石鎚森林事務所管内の請負生産事業の監督員、土居森林事務所への応援などもありますが、応援をいただくこともあり、西条地区(石鎚・土居・西条)で協力し合いながら事業を進めることが大切と考えています。

当森林事務所に着任して四ヶ月余りで、管内を把握するにはまだ時間が必要ですが、首席森林官としての役割を果たせるよう頑張りたいと考えています。



「石鎚山」



「筆者は右側」

第二〇回
「氷室まつり」開催
〈森林技術センター〉

いの町本川地域で「第二〇回氷室まつり」が七月八日、同町越裏門の吉野川河川敷で行われました。

当日は、地元いの町長の外、高知県知事をはじめ、多くの方々が参加する中で、手箱山（一、八〇六）国有林内の氷室に天然氷を取りに行く登山隊は、当日の天候不順にもかかわらず多くの参加者を得て氷が取り出され、まつりの参加者にふるまわれました。まつりでは、二〇回開催を記念しての餅撒き、地元の太鼓グループ一番風による演奏や、本川神楽、プロ歌手による歌謡ショー等が華を添え、終日賑わっていました。



氷室まつりの様子

新任紹介

四国森林管理局長

宮原 章人

- 昭和五六年四月 農林水産省入省（構造改善局総務課）
- 平成元年八月 高知営林局宿毛営林署長
- 平成二二年七月 大臣官房審議官（国際部担当）
- 平成二二年七月 現職

校庭のモミの木の炭素現存量にビックリ！
〈ふれあいセンター〉

七月五日、四万十市立後川中学校において、一年生

三名と、隣接している利岡小学校六年生一名を対象に森林教室を行いました。

まず最初に、「森・川・海のつながり」について、森で作られた栄養分が川から海へ流れ、プランクトンや昆布や魚の栄養となっていて、森が豊かになれば、川も海も豊かになることを説明しました。

次に、炭素現存量の話に移り、樹木が二酸化炭素を吸収し水と光エネルギーを使って成長するとともに、炭素を固定していることを説明し、その固定炭素量を測るためには樹木の体積を求めなければならぬことと、測定のための道具として、輪尺・直径巻尺・測竿・デジタル測高計が必要であることを説明しました。その後、校庭に移動し、アカマツとモミの胸高直径と樹高を測定しました。アカマツの樹高は一〇以上の測竿と

同じ位でしたが、モミの木は測竿では測りきれず、目で予想した後、デジタル測高計で測定しました。生徒の中にはピタリ当てる子もいて「やったー」と歓声をあげていました。

再び、教室へ戻り、炭素現存量の計算に移りました。算出するために、枝や根っこを含めた樹木全体の体積を求めた後、乾燥時の重さ、その中の炭素の含有量、最後に樹木が吸い込んだ二酸化炭素の重さを求めました。生徒達は、係数が連続する計算に手まどいながらも、モミの木（胸高直径七〇センチ、樹高二一）が六・二二トンの二酸化炭素を固定していることを導き出しておどろいていました。

この学習によって子供達は、モミの木一本でも大量の二酸化炭素を固定し、地球温暖化防止に役立っていることを、数字の上でも理解することができたと思っ

ています。



モミの木の高さは？

森林環境教育の推進
〈高知中部森林管理署〉

当署では、県立香北青少年の家に宿泊訓練等に訪れる小学生を対象とする森林教室に随時講師を派遣しています。最近の三ヶ月でも次の七校に向けて講師をつとめてきました。

〔五月五日〕 野市小学校 四〜六年生 二四名

〔五月二二日〕 香南市立香我美小学校五年生 四名

〔五月二五日〕 いの町立

下八川小学校三～五年生
九名

〔五月二六日 香美市立
香長小学校五年生 一六
名〕

〔六月一日 高知市立江
ノ口小学校五年生 四一
名〕

〔六月一三日 いの町立
川内小学校五年生 一六
名〕

〔六月二二日 高知市立
一宮小学校五年生 八九
名〕

この森林教室では、絵や
写真を交えながら日本の森
林の概要や森林の持つ公益
的機能等についてわかりや
すく説明しました。また、
当署管内で撮影した動物の
写真や動画を見てもらい息
抜きをした後、サクラやミ
ズメなどの枝を使っていろ
いろな動物の置物を作成し
ました。

終了後のアンケートでは
担任の先生から「日本の国

土の三分の二、高知県全体
の八四％を占める森林をう
まく活かしながら環境教育
への取組ができればいいな
と思います。いかにして森
林を整備し保存・活用して
いくかを子どもたちと一緒
に考えていきたいです。」と
の意見があり、今後さらに
森林環境教育を推進してい
ただく契機になったと実感
しています。



力を合わせて、うまく切れるかな



当署は香美市立大柘小学
校とヒカリ石国有林におい

て「遊々の森」協定を結ん
でおり、毎年五年生を対象
に森林環境教育を行って
います。今年度第一回目の取
組として七月二日に鳥の巣
箱づくりを行いました。
まず、地域の国有林や当
署の仕事の内容について知
ってもらおうと、写真を見
てもらいながら分かりやす
く説明し、その後、鳥の巣
箱づくりに取りかかりまし
た。

最初は慣れない手つきで
かなづちを使い斜めに通っ
てしまった釘を抜き、また
打ち直し…。と失敗を繰り返
しながらも各々、自分で
巣箱を完成させました。
最後に「今日は巣箱の作
り方を教えていただきあり
がとうございました。秋に
みんなで巣箱を掛けに行く
のを楽しみにしています。」
とのお礼を言葉をいただき、
写真撮影をして教室を終え

ました。



巣箱できたよ



七月二五日、高知県安芸
郡芸西村の村保健センタ
ーで、「夏休み親子木工教室」
を実施しました。

この教室は、毎年夏休
み期間中に村教育委員会から
の要請で実施しています。

当日は、木工教室を通し
て親子で身近な環境に関
心・興味を持つことを目的
に、夏休み最初の日曜日に
幼稚園児、小学生児童の親
子合わせて四〇名参加があ
りました。

木工教室を始める前に森
林ふれあい担当より、刃物
でケガをしないための注意
について説明をしたあと木
の小枝を使ったカブト虫、
クワガタ、また今年は貝殻
などの材料も準備し、いろ
いろな作品作りに取り組み
ました。

幼稚園、小学校低学年の
児童は木を切るノコギリは
お母さん等に手伝ってもら
い、出来上がった昆虫を板
に張り付け色を塗り、工夫
を凝らした作品が次々に完
成すると、夏休みの宿題完
了と親子でニッコリ、ケガ
もなく親子木工教室が終了
しました。



親子木工教室の様子